

社会福祉法人 平成会

# 不老乃郷

広報誌

## Vol.107

社会福祉法人 平成会

自分らしく生きることを支えます

発行 令和3年6月15日



7.13(火)・16(金)  
迎え火・送り火

お亡くなりになった方々の霊  
をお迎えし、そしてお見送りを  
します。

8.7(土)・8(日)  
夏祭り

施設内で屋台を出したり、  
盆踊りを踊ったり。夏の風物  
詩です。

9.19(日)  
敬老会

長寿のお祝いをします。すでに皆さ  
んご長寿ですが、毎年、90歳にな  
る方に「横綱表彰」をしています。

遊  
悠  
く  
ら  
し

※新型コロナウイルス対策のため、ご利用者と職員のみで実施させていただきます。

お気軽にご相談・お問い合わせください。

TEL.042-557-3030

〒190-1201 東京都西多摩郡瑞穂町二本木1319番地 FAX.042-557-3210  
ホームページ <http://www.furounosato.org> E-メール [kaigo@furounosato.org](mailto:kaigo@furounosato.org)

Feature

# 特集 感染症対策を 行いながらの運動会



感染症対策の為、入居者様の外出やご家族様の面会が出来ない日々が続いています。

その中でも入居者様には笑顔で楽しく過ごして頂けるよう、職員が案を出し合い、各行事を行っています。

中でも4月に行った運動会では外に出られ、園庭にて実施する事が出来ました。外での行事は久々



だった為、入居者様大変喜ばれていました。

紅組、白組に分かれてチームになって頂き、玉入れ、ピンポン玉リレー、借り物競争の競技を行いました。チーム戦の為、みなさん点を取れるよう一所懸命努力されていきました。チームを応援する為に掛け声や拍手子等を行い、チームが勝利出来るよう切磋琢磨して

頑張っていました。

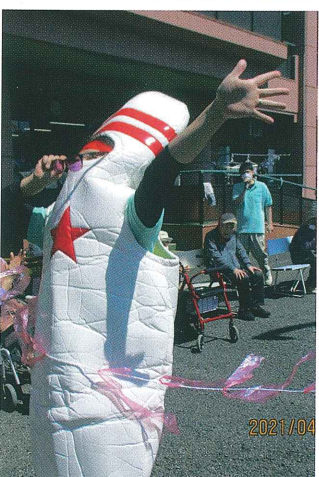
感染症対策もしっかりと行い実施させて頂きました。入居者様との間隔を空けて競技を行っていたり、使用した物品は消毒を行ってからの次の走者に渡したりと、感染症対策を徹底した上で実施させて頂きました。

昼食は運動会が終わった流れのまま、外でカツカレーを召し上がって頂きました。室内で召し上がる食事とはまた違い、暖かい日を浴びながら食事を召し上がり、大変喜ばれていました。暖か

い陽気であった為、食事を召し上がった後はウトウトされている入居者様中にはいらっしやられ、気持ちよさそうにされています。

また、おかげさまで運動会後に体調を崩される方もいらっしやらずに大盛況で幕を閉じる事が出来ました。

このような時期ではありませんが、入居者様の笑顔を第一に考え、今後も安全、安心して行事を行って頂けるよう職員一同努力して参ります。



# デイサービスセンター 不老の郷

コロナ禍の中、令和三年を迎える事となりましたが、ご利用者様・職員共に元気に過ごすことができました。新年は、お正月遊びや手作り絵馬で今年の目標を掲げました。果たして、達成できるでしょうか？

二月には、満百歳を迎えられた方もおります。今、百歳がお二人元気に通所されています。七十代も八十代も百歳目前の方も、日々体を動かし元気な百歳目指して頑張っています。



自粛生活が強いられる中、お天気の良い日は公園に出かけたり、園庭で日光浴をしています。外では自然に笑顔がこぼれます。「やっぱり外は気持ちがいいね！」



在宅生活をより豊かに過ごせるよう、機能訓練や口腔体操にも力を入れています。率先して参加する人、渋々参加する人、体操の時間をなかったことにしようとする人…そして、体操の真只中寝てる人。様々ですが、職員もヘコタレス日々頑張っています。



見えないじゃんかあ(笑)  
職員「そういうAさんはまだ二十歳くらいですよ」  
入居者Aさん「そうだよ、わーっはっは！」

昨日と同じ内容でも、それで何度も笑う事ができるのは、とても素敵でお得な事だと思います。忘れてしまう事は、考え方を換えれば、人間のさらに進化した形なのかもしれませんね。

五木寛之さんの著書「生きるヒント」の中に、「物事を忘れてしまう事は、人間の持つ才能のひとつである」という一節があります。人間は嫌な事も含め、忘れる事ができるから生きていけるというのです。

お年寄りの中には、昨日の事や、ついさっき話した事も忘れてしまう方がいらっしゃいます。でもそのおかげで、同じ事で何度も笑う事ができるのです。

入居者Aさん「あんたいくつ？ 35？」



ご寄付いただき  
ありがとうございました



コロナ過においても多数の方々から真心のご寄付をいただきました。改めて感謝申し上げます。に、今後の施設運営に活用させていただきます。

令和2年6月から令和3年4月までご寄付をいただいた方々を紹介させていただきます。

小原 益実様

(有)さやま典礼代表取締役

馬場 光春様 鈴木 利一様

(有)清穂産業代表取締役

清水 恵子様

(有)多摩商会多摩調剤薬局

代表取締役

奥野 敦子様 田中 育夫様

中野 喜幸様 根岸ヨシ子様

星 幸子様

(株)インタラクティブ・マネジメ

ント・サポート代表取締役

箕田 茂様

医療法人社団 東京昌栄会

もとえデンタルクリニック理事長

久保田光弘様

合計金額七六〇,〇〇〇円



コロナ対策用の  
簡易陰圧装置を  
導入致しました



この度、介護施設において新型コロナウイルスの拡大を防止するため、地域医療介護総合確保基金を活用した、東京都の「令和2年度介護施設等における簡易陰圧装置・換気設備の設置に係る経費支援事業」の補助金に申請し当施設に於きまして、簡易陰圧装置40台の補助が認められて、先日全台納品されました。

簡易陰圧装置とは、個室化されていない居室において、コロナ感染者及び感染疑い者をビニールテント内に隔離し、ビニールテント内の空気を、高性能フィルター付きの換気扇で絶えず負圧にして、ウィルスを外に出すことがなく施設内で看護・介護できるものです。通常の陰圧機は建物への大規模な工事が必要としますので、これはいつでも瞬時にほぼ完全な隔離ができる装置です。



ARITECH TIB-2618N



現在時折、施設内でクラスターが発生したという報道がありますが、万一発症者が出て早期に対応することでクラスターを発生させないためのものです。

誰一人発症者を出さないことが目標ですが、感染者がいらない現在は空気清浄機として機能しております。

見守りケアシステム  
内蔵型電動3モーターベッドを  
10台導入いたしました。

この度、令和2年度次世代介護機器の活用支援事業(次世代介護機器導入推進事業)により、フランスベッド社の見守りケアシステムM2内蔵型3モーター電動ベッドを10台導入いたしました。このベッドはベッド自体にセンサーが内蔵されていて、ベッド上の利用者の動きを感じし単なる寝返りか起床動作をしているのかコンピュータが判断し必要時はナースコールに連動するというものです。

これまでは、利用者に合わせてベッドに置くタイプと床に置くタイプを使い分けており、誤作動も多くそのたびに訪室するので職員も疲弊しておりました。一番怖いのは電源の入れ忘れなどは事故に直結するので何度も確認をするため精神的負担も多大なものです。

今回のセンサー付きベッドは電動ベッドでして、絶えず電源が入っているのですが、まず電源の入れ忘れは防げません。また、誤作動も少ないため無駄な訪室も防いで必要な利用者の介護にあたれます。

また、この補助金の条件として、次世代介護機器の積極的活用と普及活動をするためのアドバンス施設となるための使命があり、そのためのセミナーをオンラインで介護機器検討委員会のメンバーが中心となり全4回のセミナーを受講中です。これからの時代は重度化する利用者に対応するため、このような機器を上手に使用していくことが大事であると実感しています。



編集後記

まだまだ感染症が落ち着く所を知りませんが、入居者様に健康で笑顔溢れる日々を送って頂けるよう、職員一同努力していきますのでどうぞよろしく申し上げます。

